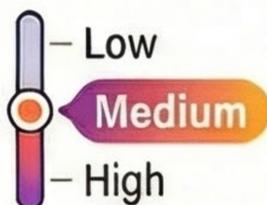


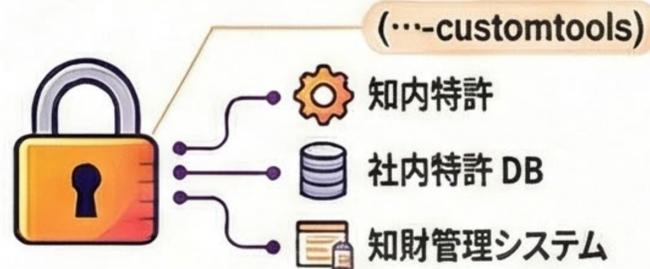
Gemini 3.1 Pro が変える企業の知財実務：次世代 AI エージェントへの進化

1. 思考深度 (Thinking Level) に「Medium」が追加



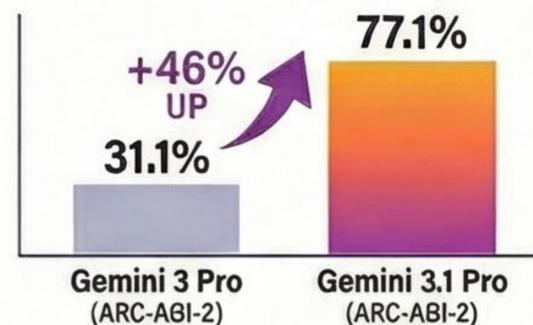
大量案件のスクリーニングにおいて、コストと精度のバランスを最適化可能になります。

2. カスタムツール優先の専用モデル ID (…-customtools)



社内特許 DB や知財管理システム等の外部ツールを、より建案に呼び出せる設計です。

3. 推論・エージェント性能の飛躍的向上



主要な仕様比較:

	Gemini 3.1 Pro	Gemini 3 Pro
思考深度	Low / Medium / High	Low / High
カスタムツール専用 ID	あり	なし
最長文脈 (v2 128k)	84.9%	77.0%



4. ワークフロー全体の半自動運転



調査から要件分解、対比表作成、OA 応答までを一貫して処理可能です。

5. 高度な判断を伴う業務の安定化



多段工程の完遂能力が向上し、FTO や無効資料調査の精度が安定します。

6. 知財担当者の役割のシフト

